



キンボールスポーツトリプルパートナーシップ制度

全国の小学生に

「キンボール」を贈ろう!!

子どもの健全育成事業に協力いただける

“コミュニティーパートナー”を

募集しています。

キンボールスポーツから生まれる「共遊」「主体」「創造」は、未来の社会を担う子どもの心と身体の健全育成になくてはならない必須要素を包含しています。これはこのスポーツが理念ありきで考案されたカナダ・ケベック州生まれの学校体育向けスポーツから始まったことに大きく関係しています。このキンボールスポーツを「より多くの子どもたちに経験してもらいたい」一念で「3者で行う地域の子どもの健全育成事業」を提案いたします。

心の健全育成

【共遊】

協調性を養う

【主体】

能動的姿勢を培う

【創造】

創意工夫ができる

身体の健全育成

●全身をバランスよく使い、基礎体力の向上を図る。

“コミュニティーパートナー”
となって
パートナーボールを
寄贈します。

企業・各種団体

キンボール
スポーツ連盟

学校・教育委員会・
総合型地域スポーツクラブ

パートナーボールを
使って、
小学生と指導者に
楽しみ方を講習します。

パートナーボールを
授業、PTA活動、
運動会、大会などに
使用します。



魅力ある教材として学校現場も注目!

キンボールスポーツは「励まし、助け合い、感動の共有や協調性を高める」スポーツとして、2010年12月末日現在で700校以上の小学校の体育の授業に取り入れられています。総合的な学習、クラブ活動、PTA行事などの授業や行事も含めると全国の3,500校以上に及びます。このスポーツがこれだけの支持を得ているのは、単なる体力向上に役立つだけでなく、精神面での発達に大きな影響を及ぼすからだと考えられます。

現場からは、

- ①大きなボールに子どもたちは驚き、次に興味を示す。
- ②一人では扱いづらい大きさのボールなので自然とみんなで支え合う。
- ③ひいてはみんなで協力する大切さがわかり、他の団体スポーツにも通じるチームワークが学べる。
- ④どの学年でも楽しめる。
低学年…キンボールを使った遊び
中学年…キンボールを使った遊び、簡単なルールでのゲーム
高学年…キンボールを使った遊びの工夫、ゲームの戦術の工夫と言う声が出ています。

(岡山県真庭市立八束小学校 教頭 山本 肇)



新しいスポーツとしてマスコミも注目!

キンボールスポーツは全世界で500万人がプレーしている国際的なスポーツで、ワールドカップ(世界大会)も開催されています。2001年から始まったワールドカップも2011年度で6回目。アジア初の大会が11月7日から14日にかけて、兵庫県宝塚市で開催されます。見た目のインパクト、3チームで競うボールゲームであることなど今までにない新しいスポーツのため、マスコミの注目度も高く、毎年年間100回を超える取材があります。今年は特にワールドカップが日本で開催されることから取材数が爆発的に増える見込みです。

寄贈者メリット

- ①社会貢献の一環として、また生涯スポーツ振興のパイオニアとしてイメージが高まります。
- ②パートナーボール(貴社名もしくは貴団体名やロゴマーク、キャッチコピーが入ったキンボール)は、大会やイベントの使用時に子どもたち、教師はもちろん父兄、観客の目に留り、宣伝効果は計り知れません。ボールの寿命は使用頻度や扱いによって若干変わりますが、10年以上使用できます。
- ③マスコミの注目度も高く、パートナーボールが新聞掲載やテレビで放映された場合、広告料に換算すると協力金の何10倍ものPR効果が得られます。
- ④日本キンボールスポーツ連盟主催の全国大会に、パートナーとして優先的に会場宣伝パネルを設置することができます。また、大会プログラムへの広告掲載も可能です(ともに要別途費用)。

システム

寄贈者は、地元の小学校、教育委員会、総合型地域スポーツクラブなど寄贈先を選択することもできます。

協力金 1口 10万円

寄贈品 キンボールスポーツコミュニティー
パートナーセットを1セット

寄贈品内容



パートナーボールには協力企業・団体名やキャッチコピーなどを最大297mm×200mmのA4サイズで表示可能です。

